

平成30年 4月18日

平成31年度島根大学総合理工学部編入学学生募集要項の一部訂正について

平成30年4月13日に発表した「平成31年度島根大学総合理工学部編入学学生募集要項」に一部誤りがありましたので、下記のとおり訂正いたします。

記

【訂正箇所：15ページ「建築・生産設計工学科」】

| | |
|---|---|
| 誤 | <p>本学科では、木材、金属、プラスチック、コンクリートを始めとする各種材料と人間の生活との関わりを追求することにより、特に人間に対して快適な住環境を形成するための各種材料の開発を行い、また地球の環境に優しいエコマテリアルを目的とした材料変換技術の確立、さらに低質原料や現在廃棄されている原材料の有効利用を図るための再資源化・再利用化のための機械加工技術を追求しています。本学科で行っている研究・教育は、大きく分けると材料工学、建築学、機械工学を総合化した内容になっています。<u>学科の構成は材料工学と機械加工システム学の2大講座に分けられ、材料工学講座では、都市計画から建築設計、耐震構造まで幅広い建築を学んだり、木質材料を中心とした材料の基礎的な性質を追求し、高度利用技術に結び付ける研究・教育を行っています。機械加工システム学講座では、材料や製品の効率的な加工・生産から、再利用、廃棄に至るまでのプロセス技術を追求しています。</u></p> <p>学生の教育は、<u>材料工学コース、機械加工システム学コース、材料プロセス工学コースの3つからなり、材料工学コース、機械加工システム学コースは、上記講座に対応しています。修得単位の内容に応じて、建築士の受験資格も得られるようにしています。材料プロセス工学コースは、材料構造物・製品設計やものづくり、環境に関する幅広い科学知識を駆使して物事を考える能力と実践力の修得を教育目標とした技術者教育プログラムを実践し、国際的に通用する技術士の育成を目指しています。</u></p> |
| 正 | <p>本学科では、木材、金属、プラスチック、コンクリートを始めとする各種材料と人間の生活との関わりを追求することにより、特に人間に対して快適な住環境を形成するための各種材料の開発を行い、また地球の環境に優しいエコマテリアルを目的とした材料変換技術の確立、さらに低質原料や現在廃棄されている原材料の有効利用を図るための再資源化・再利用化のための機械加工技術を追求しています。本学科で行っている研究・教育は、大きく分けると材料工学、建築学、機械工学を総合化した内容になっています。</p> <p><u>平成31年度3年次編入時における学生の教育は、都市計画から建築設計、耐震構造まで幅広く建築を学ぶ材料工学コース、材料や製品の効率的な加工・生産から、再利用、廃棄に至るまでのプロセス技術を追求する機械加工システム学コースの2つからなります。修得単位の内容に応じて、建築士の受験資格も得られるようにしています。</u></p> |

【問い合わせ先】

島根大学 自然科学系第一課
(総合理工学部担当)
電話 (0852) 32-6835